

平成 25 年度

事業報告説明書

公益財団法人 大阪認知症研究会

事業報告説明書

自 平成 25 年 4 月 1 日

至 平成 26 年 3 月 31 日

1. 助成事業

○事業内容・趣旨：

◇医学研究助成・・・団体及び個人が実施している研究に対して積極的に助成することにより、研究の着実な成果を見いだし、認知症の問題・課題の解決を図る。

◇海外派遣助成・・・海外の認知症研究者との研究交流をはかることによって、当該分野における研究レベルの向上を企図する。

○応募期間：

平成 25 年 4 月 15 日～同年 5 月 14 日（消印有効）

○応募資格：

認知症の研究にあたっている大阪府域の大学、研究所、医療機関、保健施設等に属している者。但し、弊財団で前年度に助成を受けられた方は応募不可。

○助成対象研究：

- (a) 認知症疾患の臨床的研究
- (b) 認知症疾患の発症危険因子に関する研究
- (c) 認知症疾患の病因に関する研究
- (d) 認知症疾患の病態に関する研究
- (e) 認知症疾患の方の介護、看護技術に関する研究
- (f) 認知症疾患の方の地域ケア、処遇に関する研究

○助成金予算：

◇医学研究助成・・・300 万円 ※件数は特に定めず

◇海外派遣助成・・・40 万円（2 件）

○応募・選考件数（金額）：※詳細は別紙に記載

平成 25 年 6 月 11 日、選考委員による選考の結果、助成対象 7 件を決定、同日理事会で承認。

	医学研究	海外派遣	合 計
予 算	300 万円	40 万円	340 万円
応募件数	10 件	3 件	13 件
選考件数（金額）	5 件（300 万円）	2 件（40 万円）	7 件（340 万円）

○助成金贈呈：

平成 25 年 7 月 31 日、助成金贈呈式を実施（於 千里阪急ホテル）

2. 普及啓発事業

(1) 認知症講演会開催

○開催日時：

平成 25 年 12 月 22 日（日）午後 2 時～4 時半

○実施場所：

千里ライフサイエンスセンター5 階ライフホール

○対象者並びに参加費：

一般府民、参加費無料

○講演内容：

座 長・・・米田 博 氏（大阪医科大学 教授）

講演 1・・・「認知症の発症メカニズムについて」

特医）大阪精神医学研究所 新阿武山病院 副診療部長 森本 一成 氏

講演 2・・・「家族は認知症高齢者にどう対処すべきか」

神戸大学名誉教授

神戸学院大学総合リハビリテーション学部 教授 前田 潔 氏

○当日参加人数：

409 名（申込受付 486 名 ⇒ 参加率 84.2%）

○本事業への寄付金：

製薬会社 6 社 合計 625,000 円

（イーライリリー、ヤンセンファーマ、小野薬品、大日本住友製薬、エーザイ、ファイザー）

(2) 当財団の活動を記した小冊子「いきいきと暮らせる長寿社会へ」無償配布

発行部数：500 部（配布先は講演会来場者、行政他）

以上

医学研究助成の部

助成対象者氏名	年齢	所属機関	助成金額 (万円)	研 究 課 題
森 啓	63	大阪市立大学大学院 医学研究科脳神経科学	100	大阪地区での家族性アルツハイマー病の実態調査
山本 圭一	37	大阪市立大学医学部 老年科神経内科	30	アルツハイマー病の診断または進行の度合を測定する方法及びキットの開発
田中 寛之	25	大阪府立大学大学院 総合リハビリテーション学研究科	40	重度認知症者における認知機能検査および日常生活活動（ADL）尺度の開発
柳田 寛太	41	大阪大学医学部 精神医学教室	100	細胞外 $A\beta$ を細胞が分解する機構の解明
鈴木 美佐	41	関西医科大学附属滝井病院 精神神経科	30	認知症高齢者が適切に外来通院を長期間継続するために必要な社会資源・社会的側面の検証
助成対象者 合計 5 件			300	

海外派遣助成の部

助成対象者氏名	年齢	所属機関	助成金額 (万円)	研 究 課 題
水田 直樹	38	大阪大学大学院 医学系研究科精神医学講座	20	Clinical Trails on Alzheimer's Disease（サンディエゴ：アメリカ）
西田 圭一郎	36	関西医科大学 精神神経科学教室	20	Department of Psychiatric Neurophysiology, University Hospital of Psychiatry, University of Bern（ベルン：スイス）
助成対象者 合計 2 件			40	